



NO. 701
発行
10・7月10日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



鉄道川柳を紹介

山脈集推薦作品

北川 拓治 選

ポケットの中でくつくつ言うあなた	大関 ただ志	人並みと言う日本語が好きになる	高塚 夏生
てのひらを開くと風に叱られる	高橋 鬼焼	糞積んで積んで農夫の城となす	野村 稲波
わたくしをスケッチさせる午後の雨	松屋 和香	六月の雨は肚まで沁みてくる	三村 悦子
母の日に母を叱りたる事もあり	渡辺 朝風	うそつきの顔で病室ノックする	牧野 ねえね
パレットに父の絵の具が干乾びる	田中 寿々夢	フライパンの中から愚痴が飛んで出る	藤 帆子
人間の匂いぶんぶん節くれ手	渡邊 正治	ミックスジュースすぐに信頼してしまう熊谷	岳 朗
機関士の靴を脱いでない仮眠	土田 欣之	死ぬほどの悩みはいまのところない	長谷川 竜太
騙されてやろう素直な目をしている	田中 道博	人臭い話へ猫が座をはすす	田中 寿々夢
人間になろうなろうと風を漕ぐ	藤沢 岳豊	九条を守ろうジュースでまず乾杯	山中 たい子
少年の瞳にかえるかぶと虫	水津 妙子	千枚田に秋の下絵を描いてみる	上田 千路

文芸特集スタート

今号から、「国鉄新潟」で文芸特集をスタートすることができました。機関誌「鉄道川柳」の川柳を中心に紙面で特集していきます。全国鉄道川柳人連盟盛岡事務局の佐藤康さんの御好意で実現することができました。国労は、組織内にサークルがあり、素晴らしい活動を展開していますが、文芸関係については、サークル会員は退職者が、多いと聞いています。文芸サークルは、川柳の他に俳句や詩、戯曲などさまざまな分野がありますが、会員の加入が少ないという実態です。以前は国労文化祭展が開催され、労働者の文化運動が盛んでした。組合運動と文化運動は車の両輪、文化運動は重要だと考えます。文芸特集から、より身近なものになっていただければと思っています。

「国鉄新潟」の紙面に紹介し多くの組合員に宣伝していきたいと考えています。「鉄道川柳」は昭和32年11月1日創刊され、現在、隔月の発行がされています。特集には、その中の「山脈集推薦作品」を中心に載せていきたいと思っています。

地本 教宣部 藤井 明人

鉄道川柳

平成20年9月号 No.323

第52全国鉄道川柳人連盟岩国大会特集



盛岡城跡公園

全国鉄道川柳人連盟 日刊協加盟

新聞の作り方

記事の構成要素

長い記事は途中の改行によって、いくつかの段落(文のまとまり)に分かれます。記事の構成を考えることは、つまり段落の展開を考えることです。最初の段落、書き出しは、読者の興味や関心を強くひきつけるインパクトが欲しいです。途中の段落は、その興味や関心をそらさず、読者が知りたいという思ふ事実を掘り下げて、最後の段落である文末は、読者が納得し、共感する結論を示して締めくくります。導入 - 展開 - 終結が基本の形です。

内容が適確でしかも正確さをみる

編集部が意図する通りの記事になっているかどうかを一つひとつ点検します。特に記事の「主題」がはっきりしているかをみきわめることが重要です。「なにを書いているのか分かりにくい」という記事は、書き直してもらおうか、また編集部で補足するか、執筆者と相談し決めていきます。

また、「正確に書く」ことも点検します。日付、場所、人数氏名、集會名など固有名詞には特に気をつけて確認します。



貨物運輸士交流会ひらく

第九回国労貨物運輸士交流会が六月二十八日(二十)九日に長野県の上田温泉で開催されました。北は青森から、南は広島まで三十六名の参加で、保安装置の問題を中心に議論が重ねられました。新潟からは、二名が会議に参加して交流を深めました。(直江津・小嶋通信委員)

今後の日程について

第79回定期全国大会

7月28日～29日

「1047名JR不採用問題・解決総決起集会」

新潟県自治労会館

8月1日

13時開場

13時30分開会

第24回東日本本部定期大会」

9月2日～3日



第63回定期地方大会

第63回定期地方大会は、10月16日に開催します。新事務所への引越しは8月下旬を予定しています。定期大会は、新しい事務所での開催になる予定です。

編集後記

今号から「文芸特集」を連載しますが、ぜひ川柳以外、いろんなジャンルを載せていきたいと思っておりますので、地本教宣部へお寄せください。お待ちしております。

新潟は六月に入り、なかなか雨が降りません。七月に入ってから雨も少なく蒸し暑い天気が続きます。不安定な天気ですが、健康管理に気を付けてください。子どもは夏休みに突入します。夏休みの計画は立てましたか?山や海へ、出かけて楽しみたいたいですね。

